

# 静岡 DCAT 活動報告

5月10日、H30年度御前崎市民生委員児童委員協議会全体研修会において、静岡DCAT出張講座に行きましたので様子をお伝えします。研修会では災害発生後の要配慮者支援者として

静岡DCATが発足したことや活動内容、指定避難所と福祉避難所の違い、移送支援用具の紹介と体験を行いました。今回は中東遠圏域のDCAT 5名に協力していただきました。



御前崎市民生委員児童委員（60名参加）の皆さんを前に静岡DCAT 5名が移送支援用具の紹介をしました。参加したDCATは左から、くにやす苑永坂さん、第2開寿園會根さん、森町愛光園増田さん、清松園赤堀さん、ぴのほーぷ長坂さんです。今回は清松園さんに無償貸与した移送支援用具を会場に持ってきていただきました。

事務局からDCAT活動概要の講義をした後に、移送支援用具の紹介と操作方法の説明をしました。今回の講義から、DCATの活動紹介だけではなく、災害時の対応について理解を深めてもらうために、指定避難所や福祉避難所の違いと役割、避難所運営者は誰が担うのかといったことについても説明をしています。



レスキューボードの体験をしていただき、感想も参加者の方に伝えていただきました。体験する際は、予め、ここが避難所の体育館で、避難所にいる支援者の1人として移送支援の担い手として協力することになった、との想定を伝えて体験していただいています。

静岡DCATは福祉専門職で編成されるチームであることを知っていただくために、担架への移乗も実演しています。介護福祉士が避難所で要配慮者をどのように移乗するのか、ポイントを交えながら実演しています。参加者の皆さんは講座が進むと益々関心を持って聞いていました。

今回が今年度初めての出張講座でした。昨年度、パンフレットを県内関係団体に配布し、静岡DCATをPRしたことで、出張講座の依頼が何件か来ています。今後も依頼先の近隣DCATに参加を呼び掛け、出張講座への協力をお願いしていきます。内容についても避難所でのDCATの活動を実演するなどして充実を図っていきたいと思います。

《参加したDCATの感想》今回の研修を通して防災の知識やDCATのことを知ってもらえてよかったです。出張講座や自施設で静岡DCATの活動内容や移送支援用具の取り扱いをすることで、知識の積み重ねができると実感しています。この活動を継続していきたいです。

布製救護担架（ベルカ）と牽引式車イス補助装置を参加者と一緒に体験しているところです。どのような時に有効なのか、用具の特徴、想定される移送ケースの説明をしながら実演することで、避難行動支援について理解を深めます。参加者も自ら学ぶことで当事者意識を持って参加していただけました。



車イスを押すことと浮かせて引くことの違いを体験してもらったことで負担軽減を実感してもらいました。DCATからは、液状化した地盤や路面が割れている道路、砂利道等においても有効であることを解説しました。

